令和５年度 紫原小学校「学校だより」（NO.3）

つくしんぼ

教育目標　夢と希望を持ち「自立」した紫原の子供を育てる
～あいさつ・掃除が確実にできる子供の育成～

発行日　令和５年６月27日
Tel 251－1323　http://keinet.com/murasas　発行責任者　校長　川畑 敏彦

水曜日は「家族団らんの日」に！

校長 川畑 敏彦

「ユーチューバー」「プロスポーツ選手」「臨床心理士」「公務員（一般行政職）」これは，現代の子供たちの人気職業ランキングです。自分の子供の将来の夢を知っていますか？子供に将来の夢を聞いたことがありますか？家族で将来の夢について語り合ったことがありますか？・・。本校の学校教育目標は「夢と希望を持ち，『自立』した紫原の子供を育てる。」です。

グローバル化や情報化が進展する現代，子供たちが将来就くことになる職業の在り方が大きく変化すると予想されています。「子供たちの65％は将来，今は存在していない職業に就く。」「今後，10～20年程度で，今ある半数近くの仕事が自動化される。」との予測もあります。

子供たちに将来の夢を聞くと，「警察官になりたい。」「ピアニストになりたい。」「医者になりたい。」「プロスポーツ選手になりたい。」など様々です。

高学年になると，「たくさんの人を笑顔にするデザイナーになりたい。」とか，「多くの命を守る看護師になりたい。」などと，「なぜそうなりたいのか。」「どんなふうに働きたいのか。」という答えが具体的に返ってきて頼もしく思います。

子供たちは，日々の生活の中で，様々な刺激を受けて生活しています。そんな中で，夢もどんどん変わってきます。一つの夢を追いかけ努力することも大切ですが，様々な刺激を受け，夢が変わっていくこともいいと思います。大切なことは，「なぜその職業に就きたいのか，その仕事を通して，どのように社会の役に立ちたいのか。」を考えていくことなのではないでしょうか。

これからの子供たちに必要な力として，自己肯定感の育成が大切だと考えられています。本校でも2年間にわたり授業や学校教育活動の中で，「授業づくり」「仲間づくり」「環境づくり」の観点から「自己肯定感の向上」に取り組んできました。今年度も引き続き「主体的に学び，協働的に高めあう『自立』した子供の育成」をテーマに，「学習指導」「生徒指導」「家庭連携」の3領域から研究を進めていきます。

特に，家庭や地域の中で，子供自身が「自分は大切にされている」という思いを感じられる機会をたくさん作ることが大切です。子供は様々な場面で，自分という存在を認めてもらうことにより，安心します。週に1回でも学校のことを家族で話し合う機会を作ることや家庭以外の地域の方々とたくさんの触れ合いを持つことで，「学校も家庭も地域もつながりあって，自分のことを大切に思ってくれている。」という感覚を子供たちに与えてあげれば，自分を大切にし，人を大切に思う気持ちを持った子供が育ちます。

できれば，週の中日である水曜日あたりに，子供から学校であったことや，どんな勉強をしたのか，楽しいことがあったかなどを聞いてあげる機会（家族団らんの日）を作っていただくとありがたいです。このことが定着すると，水曜日に子供は喜んで帰ってきます。聞いてくれる人がいないとがっかりします。家族で学校のことを話題にし，学校と家庭が結び付けられる日になること，子供たちの自己肯定感が育まれる場になることを願っています。